

# SUNPAK

## デジタル&フィルムカメラフラッシュ リモートライトII

### 使用説明書

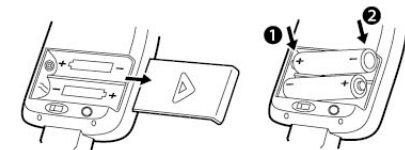


### Remote lite II

このたびは、サンパック「リモートライトII」をお買い上げ頂き、ありがとうございました。ご使用にあたっては、この使用説明書をよくお読みになり、内容をよく理解して正しくご使用ください。

### 電池の入れ方

電池カバーをはずし、+、-を間違わないように、向かって左側の方①を先に入れ、それから②の方を入れてください。



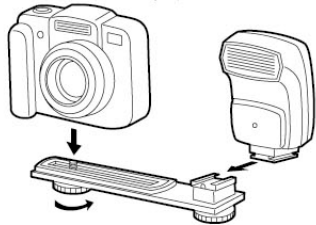
#### ※使用できる電池の種類

- 1次電池タイプ
  - ・単3形アルカリ乾電池(2本)
- 2次電池タイプ
  - ・単3形ニッケド電池(2本)
  - ・単3形ニッケル水素電池(2本)

※当社のニッケド電池QB-3はご使用できません。

### 取り付け方(3タイプの取付け方ができます。)

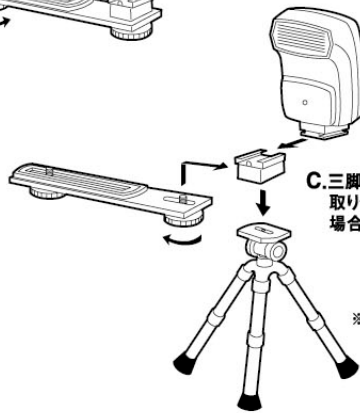
#### A. ブラケットにカメラと一緒に取り付ける (ホットシューのないカメラの場合)



#### B. カメラの ホットシューに 取り付ける場合



#### C. 三脚に 取り付ける 場合



※三脚は当社では取り扱っておりません。

## 安全上のご注意 ■必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守りください。
<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。

### 警告

- 機器を開けたり、改造しないでください。高圧回路があり、火災、感電又は傷害の原因になります。
- 当社指定以外の付属品を使用しないでください。火災、感電又は傷害の原因になります。●機器を落としたり破損した場合、又は機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。●機器を人の目の前(特に乳幼児)に近づけて撮影しないでください。目の近くで発光させると、視力傷害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する時は1m以上離れてください。
- 電池を入れる時は、+-を正しく入れてください。また電池を交換する時は、全部を一度に同一メーカー、同一種類の電池を入れてください。誤った使い方は漏液、発熱、破裂の恐れがあり、電池寿命が短くなったり、接触不良の原因になったりします。●コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで機器を使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入った場合、火災、感電又は傷害の原因になります。●風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い場所では使用しないでください。火災、感電又は傷害の原因となります。●可燃性ガス及び爆発性ガス等が大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。

### 注意

- 水の飛沫や水滴にさらさないでください。●バッテリーを高熱にさらさないでください。●乾電池は充電しないでください。●直射日光の当たる埃の多い場所や湿気の多い場所に置かないでください。内部の湿度が上がると、火災の原因となることがあります。●埃の多い場所に置かないでください。使用すると火災、感電の原因となることがあります。
- 不安定な場所で機器を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

### その他の注意

- ベンジンやシンナー、アルコール等で機器を拭かないでください。機器の変色や変形の原因となります。汚れのひどい時は柔らかい布で乾拭きしてください。

# SUNPAK

 トーカドエナジー株式会社 サンパック営業部

本社 〒145-0062 東京都大田区北千束1-4-6 TEL03-5701-1122  
大阪支店 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-10-27 TEL06-6245-5333  
サンパックホームページ <http://www.sunpak.jp>

## ■本製品のセット内容と各部の名称

1. リモートライトII 本体
2. ブラケット
3. 使用説明書
4. 保証書

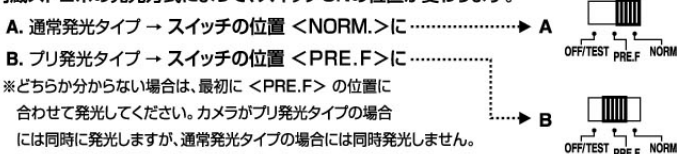


## ■撮影の準備

### A フルオートカメラや、プログラムモードで使用する場合

#### 設定

1. カメラのモードをプログラムモードにする。
2. カメラの内蔵ストロボを強制発光にする。
3. 赤目軽減機能の解除  
(カメラの内蔵ストロボが赤目軽減機能を持っている場合は、OFFにしてください。)
4. 内蔵ストロボの発光方式によって、スイッチONの位置が変わります。



#### 5. テスト発光

カメラのシャッターボタンを押して内蔵ストロボが発光することと本機がそれに反応して同時発光していることを確認してください。そして、撮影画像で本機が同調していることを確認してください。以上で設定は完了です。

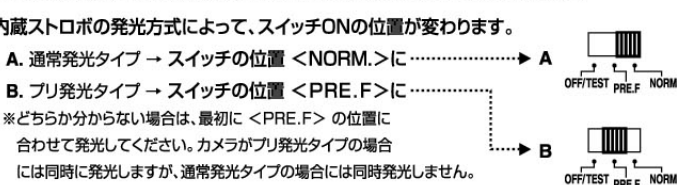
## ■撮影の仕方

1. シャッターボタンを押して撮れた画像をディスプレイで確認します。
2. 被写体が明る過ぎる時は、被写体から少し離れて、もう一度撮影します。
3. 被写体が暗過ぎる時は、被写体に少し近づいて、もう一度撮影します。
4. 明るさがちょうどよい場合は撮影完了です。※カメラから離して使用する場合の光量の微調整は、被写体と本機の距離を離したり近づけたりすることで行ってください。
5. 続けて撮影する場合は、レディランプの点灯を確認してから、シャッターを押してください。※レディランプが点灯していないと発光しません。

### B マニュアル設定が可能なカメラの場合

#### 設定

1. カメラのモードをAまたはMモードにする。
2. カメラの内蔵ストロボを強制発光にする。
3. 赤目軽減機能の解除  
(カメラの内蔵ストロボが赤目軽減機能を持っている場合は、OFFにしてください。)
4. 内蔵ストロボの発光方式によって、スイッチONの位置が変わります。



#### 5. ISO感度設定の確認

カメラのISO感度が設定できる場合は、ISO100かそれに近い数値に固定してください。

#### 6. F値設定の確認

F値は2.8に固定してください。(2.8の値がない場合は、それに近い数値に固定してください。)

#### 7. テスト発光

カメラのシャッターボタンを押して内蔵ストロボが発光することと本機がそれに反応して同時発光していることを確認してください。そして、撮影画像で本機が同調していることを確認してください。以上で設定は完了です。

## ■撮影の仕方

1. シャッターボタンを押して撮れた画像をディスプレイで確認します。
2. 被写体が明る過ぎる時は、カメラのF値の数値を大きくするか、又は-補正し、もう一度撮影します。
3. 被写体が暗過ぎる時は、カメラのF値の数値を小さくするか、又は+補正し、もう一度撮影します。
4. 明るさがちょうどよい場合は撮影完了です。 ※カメラから離して使用する場合の光量の微調整は、被写体と本機の距離の変更や、F値や補正値の調整により行ってください。
5. 続けて撮影する場合は、レディランプの点灯を確認してから、シャッターを押してください。※レディランプが点灯していないと発光しません。

## ■撮影上の注意

1. 被写体からの反射光をスレーブセンサーが感知して同調しますが、反射光が少ない場合には同調できません。
2. 内蔵ストロボ光だけで光量が十分な距離では、本機を併用すると露出がオーバーになります。内蔵ストロボ光だけでは光量が足りない場合にご使用ください。
3. ホットシューに取り付ける場合に、スレーブ機能の解除はできません。
4. 本機を使用中に、他の人が使用しているストロボが発光すると、本機が同調する場合がございます。

最新情報は、サンパックホームページでご確認ください。

## ●主な仕様

使用電池	単3乾電池 2本(アルカリ、Ni-Cd、Ni-MH)(別売)
ガイドナンバー	12 (ISO100相当)、24 (ISO400相当)
発光間隔	約4秒
発光回数	約200回以上(アルカリ乾電池使用時)
調光方式	外部調光オート(F2.8/ISO100、F5.6/ISO400)
機能	スレーブ機能内蔵、フリ発光機能対応
照射角度	35mmレンズをカバー(35mmフィルム換算)
色温度	約5,600K
付属品	カメラブラケット
寸法	58(W) X 37(D) X 93(H) mm
重量	80g(電池別)

●仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。